



かながわ湘南西 障福ナビだより

令和元年 5 月 31 日 第 101 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

令和元年度湘南西部圏域地域生活ナビゲーションセンター の取り組みについて

今年度の現時点での活動予定は、以下の通りです。昨年度までの流れを継承し、関係機関の方々と連携して各種取り組みを推進していきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

1. 湘南西部圏域自立支援協議会

日程 第 1 回会議 令和元年 7 月 17 日（水）伊勢原市シティプラザ

第 2 回会議 令和元年 10 月 23 日（水）秦野市保健福祉センター

第 3 回会議 令和 2 年 3 月 4 日（水）平塚保健福祉事務所

今年度は、委員改選の年です。各市町協議会、専門機関、圏域における課題と取り組みの報告、意見交換を中心に運営する予定です。

2. 湘南西部圏域相談支援ネットワーク

日程 第 1 回会議 令和元年 6 月 17 日（月）平塚市役所

地域における相談支援体制整備、人材育成を中心に、年に 3 回の会議で意見、情報交換を行います。相談支援の在り方について、継続して意見交換を行っていく予定です。

3. 湘南西部圏域重症心身障害児者及び医療的ケアを必要とする方の支援ネットワーク

日程 第 1 回会議 令和元年 9 月 6 日（金）神奈川県立平塚養護学校

年に会議を 2 回、事業所情報交換会、医療機関懇談会をそれぞれ 1 回ずつ予定しています。

『平成 30 年度湘南西部障害保健福祉圏域
地域生活ナビゲーションセンター 活動報告書』をご活用ください

神奈川県障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業

平成 30 度
湘南西部障害保健福祉圏域
地域生活ナビゲーションセンター
活動報告書

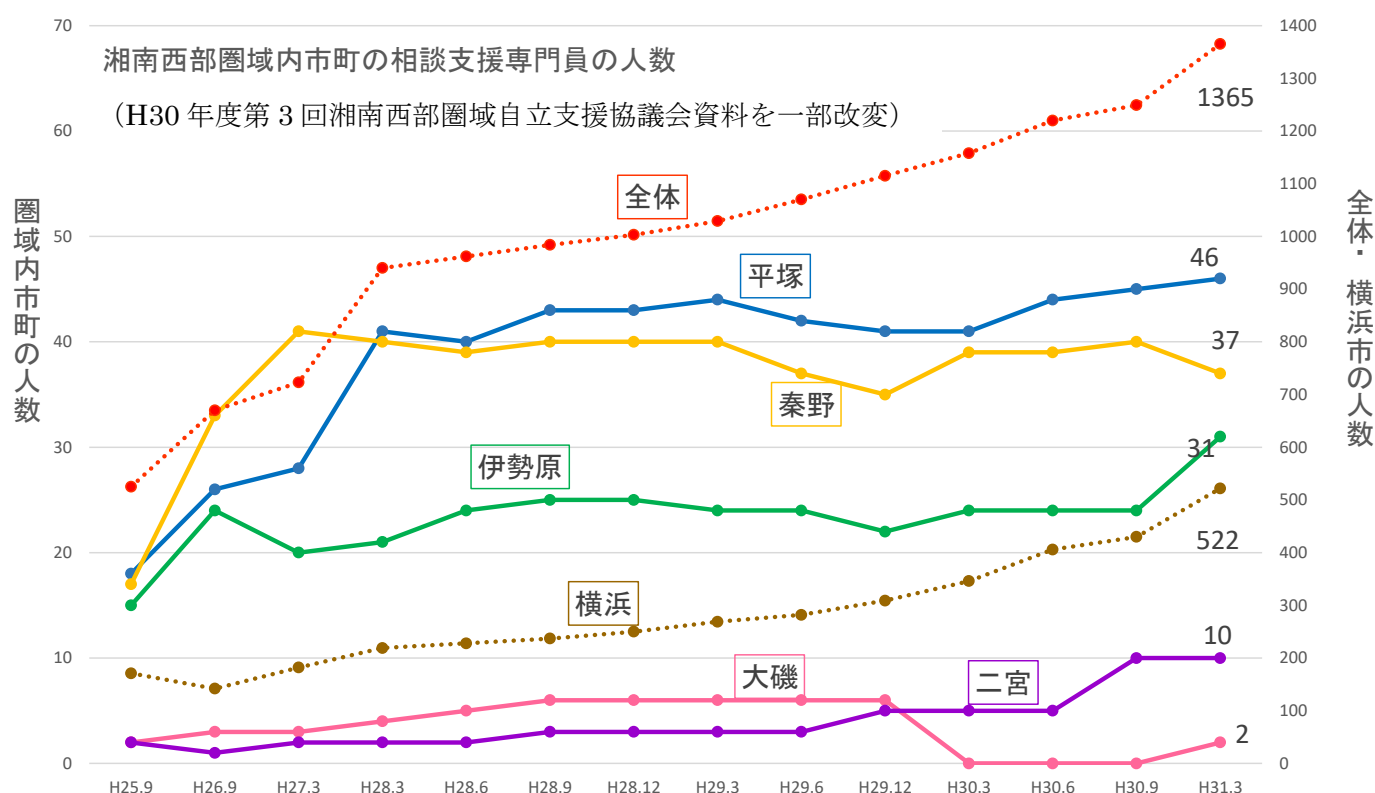


平成 31 年 4 月
社会福祉法人常成福祉会
丹沢自律生活センター総合相談室

活動報告書の平成 30 年度版が出来上がりました。この報告書は会議等で挙がった意見、アイデアや感想を広く発信し、圏域内で共に活動する方々に必要な部分を活用いただくこと、また連携による取り組みのきっかけを作ることを目的に作成しています。今年度版は、湘南西部圏域自立支援協議会で使用した事務局作成資料を中心に多数掲載し、臨場感をもって報告内容を確認いただけるように工夫してみました。「かながわ湘南西障福ナビ」を検索し、「ナビだより」ページからダウンロードの上、是非お手に取ってご覧ください。

指定特定（障害児）相談支援事業所における 相談支援専門員の実人数が公表される

神奈川県から、平成31年4月1日現在の相談支援専門員の実人数が公表されました。昨
年秋以降は、公表時期が半年ごとに切り替わっています。湘南西部圏域内市町では、平塚市46
名（前回比+1）、秦野市37名（-3）、伊勢原市31名（+7）、大磯町2名（+2）、二宮町10
名（±0）であり、全体で7名増えました。相談支援事業所の新設と休止、人事異動など複数
の理由で実人数が変化しています。各地域に確認したところ、相談支援専門員が足りていると
いう実感は依然として無いようです。今年度は3年ぶりに神奈川県による相談支援専門員の実
態把握調査が行われる予定ですが、それを基にして新たな体制整備につながることを期待され
ます。



湘南西部圏域の事業所の皆さま向け研修会のお知らせ

平成31年度秦野市基幹相談支援センター主催研修会

「意思決定支援再考 ～具体的な取り組み事例から学ぶ～」



日 時：令和元年7月6日（土）13時半～16時半 / 会 場：秦野市保健福祉センタ
ー
主 催：秦野市基幹相談支援センター / 参加費：無料 / 定 員：35名
（先着順）

講 師：和泉短期大学教授・社会福祉士 鈴木敏彦 氏

＊平塚市、伊勢原市、大磯町、二宮町からは若干名の参加が可能です。

ご興味のある方は、湘南西部圏域市町の地域協議会事務局から配信されるメール等の案内を確認

【あとがき】改元フィーバーが過ぎて、日常が戻りつつあるようです。お祭り騒ぎに眉をひそめる向きもありましたが、日々の生活に楽しみや喜びを見つけることは大切ですね。誰もが希望をもって生活できる時代になりますように。



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 1 年 7 月 31 日 第 102 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

令和元年度第 1 回湘南西部圏域自立支援協議会開催

令和元年 7 月 17 日（水）に、伊勢原市シティプラザふれあいホールにて開催しました。今年度は委員改選期であり、異動等による変更も含めて新たに 10 人の委員、オブザーバーの方々にご参加いただいています。精神障害のある当事者委員も新しい方が就任されました。会長副会長の選任では、昨年度まで 4 期 8 年の長きにわたって本協議会会長を務めて来られた、神奈川県障害者自立生活支援センター理事長の鈴木治郎委員からのご推薦もあり、満場一致の承認を得て次のお二人が就任されました。

会長 社会福祉法人素心会 理事長 萩原勝己 委員

副会長 秦野市手をつなぐ育成会 会長 相原和枝 委員

議題では、まず報告事項として、各市町協議会の今年度の取り組み予定、圏域で活動する 7 つの機関の昨年度の取り組み概要・課題と今年度の取り組み予定、神奈川県障害者自立支援協議会の取り組み状況を報告いただきました。

続く協議事項では、圏域内各市町における地域生活支援拠点整備の進捗状況と課題について情報交換、意見交換を行いました。国の基本指針では地域生活支援拠点等の整備について、令和 2 年度末までに各市町又は各圏域に少なくとも 1 つを整備することとされており、7 月 9 日に開催された神奈川県障害者自立支援協議会では、県内各市町村に対しての整備状況調査結果が報告されています。地域生活支援拠点の 5 つの機能のうち、緊急時の受け入れ機能（他に、相談、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）については、平成 29 年度の本協議会における圏域課題の一つとして整理し、以降継続して圏域内 2 市の



課題解決に向けた取り組みを中心に共有してきた経緯があります。この機能の実現に苦勞している自治体は多く、既に仕組みを整えたという県内の地域ですら実効的な取り組みとしての課題は残っているとも聞きます。湘南西部圏域各地では地域特性を活かしたチャレンジが今も続けられています。本協議会では、継続して地域生活支援拠点整備について確認の場を設けることとし、地域協議会でも連動してこの議題で協議をすることをお願いしました。

令和元年度湘南西部圏域障害者差別解消支援地域協議会 第 1 回会議参加報

令和元年 7 月 24 日（水）に二宮町学習センターラディアンで開催されました。今年度の事務局は、大磯町・二宮町です。圏域差別解消支援地域協議会は、平成 27 年度にモデル事業として立ち上げられ、平成 29 年度途中までは圏域自立支援協議会と事務局以外は同じ委員構成で同日開催してきた経緯から、相互に事務局が会議に出席し連携を継続しています。

昨年度は圏域内の当事者団体、相談支援事業所等の協力を得て、障害者差別事例の収集が行われましたが、今年度はそれに加え、好事例の収集を進めていくことになりました。障害者差別事例の報告では、飲食店を利用した際にコミュニケーションがうまく取れなかったことを背景に行き違いが生じ、店員とのトラブルに発展した事例の説明がありました。当事者委員からは、共感的に理解できるというコメントや、店が独自で障害のある人への接客マニュアル（まず一声かけてみる、など）を用意することは難しいであろうことから、行政や団体が用意することの提案がありました。初めから悪気がある訳ではなく、配慮の仕方を知らないだけの方たちに、よき理解者になってもらうために我々ができることはまだある、と強く感じた事例でした。

湘南西部圏域の事業所の皆さま向け研修会のお知らせ



精神障がいのある方のご自宅や地域での 生活支援を考える連絡会

日 時 令和元年 8月26日（月）17時00分～19時45分（16時30分～受付）

場 所 平塚市役所・平塚税務署 3階 302会議室

※昨年から駐車場が有料となりました。公共交通機関もご利用ください。

開催者 平塚市障がい者自立支援協議会地域生活支援部会精神分科会

ほっとステーション平塚（精神障がい者地域移行・地域定着支援事業）

湘南西部障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター による合同開催

対 象 精神保健福祉に関係する諸機関のスタッフ

（平塚市・大磯町・二宮町・秦野市・伊勢原市内の居宅介護事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、精神科病院、診療所、地域活動支援センター、就労支援事業所、相談支援事業所、行政機関など）

内 容 ①講義『精神科疾患や精神障がい、当事者の生活にどう影響するか？（仮題）』

講師 上田 竹人 先生（ゆうクリニック 精神科医師）

②グループワークを通じた顔の見える関係づくり

テーマ 『訪問している時に、利用者の方の体調が心配になったと

き』

申 込 湘南西部圏域市町の地域協議会事務局から配信されるメール等の案内を確認の



かながわ湘南西 障福ナビだより



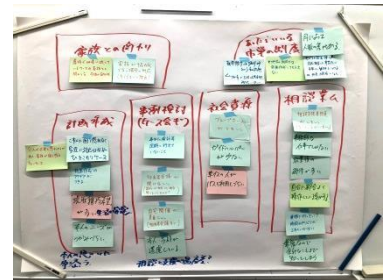
令和 1 年 9 月 30 日 第 103 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail:soudan@jousei.or.jp

2019 年度第 2 回平塚市計画相談支援連絡会 開催される

令和元年 8 月 30 日に開催された第 1 回平塚市障がい者自立支援協議会では、基幹相談支援センターが議題の一つとして挙がり、今後その必要性についての検討が進められることとなりました。その下部組織である平塚市計画相談支援分科会は、今年 6 月に計画相談支援連絡会を立ち上げ、市内の相談支援事業所同士の情報交換や交流の場を作りました。9 月 20 日の第 2 回連絡会では、「相談支援を行う上で困っている事、こうなったらいいなと思う事」をテーマにグループごとに相談支援専門員が意見交換し、相談支援体制上の地域課題として整理し発表しています。計画相談支援分科会は、10 月 2 日にワーキングを開催し、今回挙げられた様々な意見を集約して地域課題として改めて整理し、基幹相談支援センター設置検討に向けた基礎資料とするとともに、12 月 18 日開催の第 3 回連絡会で報告することを予定しています。



湘南西部圏域ネットワーク形成等の状況について



令和元年 9 月 6 日に、「第 1 回重症心身障害児者及び医療的ケアを必要とする方の支援ネットワーク会議」（於 神奈川県立平塚養護学校）を開催しました。今回は、神奈川県障害福祉課の方から、医療的ケア児等コーディネーター研修、ケア付き通学支援事業等の概要と現状についてご説明いただき、意見交換しました。他には、新たな家族会の立ち上げ、停電時の公共機関における電源確保の状況など、情報・意見交換を行っています。

9 月 24 日には「第 2 回相談支援ネットワーク会議」（於 大磯町立福祉センターさざれ石）を開催しました。第 1 回会議結果の振り返り資料を基にしたその後の各地域での課題への取り組み状況報告の他、各種情報交換を行いました。また、インクルーシブ教育実践推進校や特別支援学校との連携のあり方、育児支援への関わりのスタンスについても、意見交換を行いました。



神奈川県相談支援従事者初任者研修 1 コース終了

神奈川県では、全国に先駆けて相談支援従事者初任者研修の新カリキュラムによる研修会を昨年度から実施しており、令和元年 9 月 27 日に今年度の 1 コース（95 名）の受講生が研修を修了されました。研修では、

「柔軟に支援を考えて良いことに気付けたのは大きな発見だった。」

「自分では思いつかなかった支援の具体的なアイデアが他の方から沢山出てきた。」

「和やかな雰囲気はすごく安心できて相談しやすいなと感じた。事業所の会議でも工夫してみたい。」…など、受講生は相談支援に関わる多くの事を学ばれたようです。

湘南西部圏域内市町では、相談支援専門員の連絡会等が設置されている地域が多く、全ての地域で GSV の手法を用いた事例検討会が開催されています。この機会を利用して、地域の仲間と共に研鑽を重ねていきましょう！



令和元年度 湘南西部圏域事例検討会のお知らせ

今年度も、各地域で開催される事例検討会との合同開催で、圏域事例検討会を開催します。相談支援従事者初任者研修と同じく GSV の手法を使った事例検討会で、年 4 回開催予定です。事前に提出いただいた 1 事例をじっくり検討します。対象は湘南西部圏域の事業所の方々と、どの回にも参加いただくことが可能です。今年の初任者研修を終えたばかりの方も大歓迎！！是非ご参加ください。

第 1 回 「伊勢原市 相談員等スキルアップ研修

グループスーパービジョンを使った事例検討」

主催：伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会 相談支援部会

日時：令和元年 11 月 21 日（木）午前 10 時～午後 12 時 / 会場：伊勢原市役所 / 費用：無料

第 2 回 「2019 年度 第 1 回平塚市相談支援専門員研修会」

主催：平塚市障がい者自立支援協議会

日時：令和元年 11 月 22 日（金）午後 5 時半～7 時半 / 会場：平塚市役所 / 費用：無料

注 1 全て事前申し込み制です。湘南西部圏域市町の地域協議会事務局等から案内メールが 11 月初めころに皆様のお手元に届く予定ですので、到着後にお申込みください。

注 2 ご不明な点は、当圏域ナビ（かながわ湘南西障福ナビ）までお問い合わせください。

【あとがき】当法人では、体育の日に地元自治会の方々と一緒に「秋まつり」を開催しています。このお祭りの準備が始まると、秋の訪れを実感します。ご興味のある方は是非お越しください。



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 1 年 11 月 29 日 第 104 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

令和元年度第 2 回湘南西部圏域自立支援協議会開催



令和元年 10 月 23 日（水）に、秦野市保健福祉センターにて開催しました。前回 7 月の会議での課題提起を受けて、「地域共生社会（ともに生きる社会）の実現に向けて」をテーマに、行政、社会福祉協議会、地域協議会、社会福祉法人（サービス提供事業所）、教育の立場から、6 つの実践報告（障害のある人が出向いて地域住民と一緒に活動し交流を深める事例、事業所が地域住民のニーズを叶える活動場所を提供することで障害のある人とない人

が自然に居合わせる場を作った事例など）をいただきました。その後の意見交換では、当事者委員より“共生社会とは、障害がある人もない人も許し合えることであり、それができれば社会は新しい方向に進んで行ける”など多数のご意見をいただいています。障害のあるなしに関わらず子どもが関わる事例が半数あり、将来への期待が自然に湧いてくるものでした。

地域生活支援拠点の整備については前回会議の中心的議題として扱いましたが、その時の議論を受けて、今回は改めて地域生活支援拠点等の意味を確認する場を設けました。また、特に【緊急時の受け入れ】機能の実現の困難さが指摘されていますが、短期入所の面的整備を進める場合に、実効的な仕組みとするための課題を整理し共有しています。

令和元年度 第 4 回湘南西部圏域事例検討会のお知らせ

今年度第 4 回は、秦野市で開催される事例検討会と合同で開催します。

「障害福祉なんでも相談室 グループスーパービジョン(GSV)」

合同開催：秦野市基幹相談支援センター、障害福祉なんでも相談室
湘南西部圏域地域生活ナビゲーションセンター

日 時：令和元年 12 月 24 日(火) 9 時 30 分～11 時

会 場：秦野市地域生活支援センター“ぱれっと・はだの” 1 階 地域活動室

対 象：圏域内の相談支援専門員（資格取得予定者含む）＊平塚市、伊勢原市、大磯町、二宮町の方も可

内 容：グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討

申込期日：令和元年 12 月 17 日(火)

※秦野市の方は“ぱれっと・はだの”へ、他の市町の方は当圏域ナビへお申込みください。

みんなで一緒に考え、支援のアイデアを出し合いましょう！！ ご不明な点は、当圏域ナビまで。





令和元年度圏域重症心身障害児者及び医療的ケアを必要とする方を支援する医療機関懇談会 開催

令和元年11月19日（火）に、東海大学付属病院にて開催しました。今年度で4回目となる本懇談会は、拡大会議と位置づけて、これまでの医療機関中心のメンバーに加えて新たに2病院の小児科の医師にもご参加いただくとともに、医療的ケアを必要とする方の支援に数多く携わっている相談支援事業所にも参加いただきました。また、平塚保健福祉事務所秦野センター 小児特定疾病部会のワーキングチームからの事例報告のため、ワーキングチームメンバーとして秦野市・伊勢原市の障害福祉担当課からもご参加いただきました。



事例報告後の意見交換でも様々な取り組みや事例の報告があり、今後もこの懇談会から新たな医療機関と地域の連携の可能性を探っていくことを確認し、終了しています。

令和元年度第1回・第2回湘南西部圏域事例検討会



前号でご案内した、「伊勢原市相談員等スキルアップ研修 グループスーパービジョンを使った事例検討(R1.11.21)」、「平塚市相談支援専門員研修会(R1.11.22)」と合同開催しました。それぞれ違う事例でしたが、焦点は共に障害のある人の意思形成支援であり、これまで選択する経験の少なかったその人の迷い、自分なりの答えを出すプロセスを大切な機会として捉えて関わるということでした。今年の相談支援専門員初任者研修を終えたばかりの方々の参加もあり、今後の事例検討会の展開により期待が集まっています。

湘南西部圏域 重症心身障害児者及び 医療的ケアを必要とする方の支援ネットワーク

令和元年度 事業所情報交換会

みなさんの「知りたい!」「困った!」「話したい!」を、支援の力に!

重症心身障害児者及び医療的ケアを必要とする方の暮らしや日中活動等を支える支援者どうしの交流を深め、連携の促進と普及啓発を目的に開催します。今回は、普段なかなか見学に行けない他の事業所の様子を知ることと、昨年度のアンケートでご意見をいただいた“思いの理解、意思確認の難しさ”に焦点をあて、日頃現場で支援にあたる介護職、看護職の方々との率直な意見交換をとおして、みなさんと利用者の方々が安心できる支援について考えます。

日時：令和2年1月17日（金） 18:00～20:00

場所：ソーレ平塚 3階 レインボーホール（平塚市寺田縄265-1）

対象：湘南西部圏域内の重症心身障害児者・医療的ケアの必要な方を支援している（考えている）事業所

申し込み〆切：令和元年12月27日（金）

お申し込みは専用FAX用紙（事前アンケート付き）で。ご不明な点は、当圏域ナビまで。



【あとがき】来年はついにオリンピックイヤーですね。第1回の観戦チケットの抽選に漏れた私は、ビール4箱分のシールを集めて、ビール会社の決勝チケットプレゼントに応募しました。当選しますように。



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 2 年 1 月 31 日 第 105 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail:soudan@jousei.or.jp

重心・医療的ケア支援NW 事業所情報交換会 開催

1 月 17 日（金）18 時から、今年もソーレ平塚 レインボーホールをお借りして開催しました。今年度湘南西部圏域内に新設された事業所も含め、重症心身障害（以下、重心という。）児者・医療的ケアを必要とする方を支援する 18 事業所、訪問看護ステーション、広域専門機関、行政、特別支援学校から合計 52 名の方にご参加いただきました。昨年度の終了後アンケート結果から、“他事業所のことを知りたい”、“意思をくみ取る支援が必要



な方への支援の在り方に迷っている”という意見が多かったことから、今年度は第 1 部で 3 事業所から事業所紹介の発表をしていただき、事業所間の連携促進のために参加事業所をすべて掲載した事業所ハンドブックを作成し配布しました。第 2 部では、「相手の気持ち、思いをくみ取るために工夫していること」をテーマに意見交換し、一部を全体で共有しています。終了後のアンケートでは、「意見交換の場では、自分がやってきたことを共感してもらえたり、参考になるお話を聞くことができます。年に 1 回とても勉強になるので是非続けてください！」など、様々なご意見をいただきました。意見交換の内容は、今年 5 月頃に発行予定の「令和元年度湘南西部障害保健福祉圏域 地域生活ナビゲーションセンター活動報告書」に掲載予定です。

湘南西部保健福祉圏域障害者差別解消フォーラム 2020



1 月 22 日（水）に、二宮町生涯学習センターラディアンにおいて、主催：湘南西部保健福祉圏域障害者差別解消支援地域協議会、共催：二宮町・大磯町障害者自立支援協議会により開催されました。4 回目となる今回は、日本障害者協議会理事 佐藤久夫氏の基調講演、「電動車いすを利用して気づいたこと」と題して障害当事者の立場から鈴木恵子氏の講演が行われました。“障害のある人が可能な限り外に出て、社会の中で人と出会うことで、

それまであった壁が壁ではなくなる”というご自身の体験を通してのメッセージが、力強く会場に響きました。

令和元年度 神奈川県相談支援体制充実強化事業について

本事業は、県域の相談支援専門員を対象に、今年度より支援困難事例に関する専門的かつ継続的な助言等を行う事業として神奈川県が各障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター（圏域ナビ）に委託して実施しています。相談支援専門員から基幹相談支援センター等を通じて（または直接）支援依頼を受けた圏域ナビが、専門機関（神奈川県立保健福祉大の教員、神奈川県精神保健福祉センターの精神科医や福祉職等）と調整を行って開催した事例検討会での専門機関による見立てや助言をもとに、その後の支援の伴走者として必要な期間関わります。また、支援困難事例を支援する相談支援専門員を後方支援することに併せて、地域の中心となる相談支援専門員を育成することが事業の目的であることから、基幹相談支援センターや委託相談支援事業所にも本事業への協力と参加をお願いしています。今年度は2事例に取り組むことになっており、当圏域では地域協議会の相談支援部会や連絡会等での事業をご案内し、ご相談いただいた事例への取り組みを進めています。また改めて今後の進捗をお伝えします。

第3回圏域相談支援NW会議 開催



1月29日に、はだのクリーンセンターにて開催しました。各地域での相談支援体制整備に関する取り組みや課題（基幹相談支援センター設置検討、相談支援専門員の退職や事業所閉止に伴う引継ぎの困難さと事前の対策、地域生活支援拠点整備の進捗と整備完了の示し方、など）について意見・情報を交換しました。大幅に時間をオーバーしましたが、多岐にわたる協議ができ、大変有意義な時間となりました。

「小児の地域包括ケアシステムづくり講演会(パート6)」

- 日 時 : 令和2年3月6日(金) 18:00~20:30
 会 場 : 東海大学伊勢原校舎3号館5階 3-562教室(伊勢原市下糟屋143)
 主 催 : 平塚保健福祉事務所秦野センター母子保健委員会小児慢性特定疾病対策部会
 共 催 : 湘南西部圏域地域生活ナビゲーションセンター(湘南西障福ナビ)
 内 容 : 「医療的ケア児のライフステージに合わせた支援の見える化
 ～新しいツールを活用した、医療・保健・福祉・教育等の多機関での連携を検討する～」
 コーディネーター 東海大学医学部看護学科 准教授 岡部 明子 氏
 パネリスト 医療的ケア児の保護者、退院支援担当看護師、市障がい福祉課職員
 費 用 : 無料
 申し込み〆切: 令和2年2月25日(火)
 問い合わせ : 平塚保健福祉事務所秦野センター 保健福祉課 0463-82-1428 内線246

【あとがき】去年の初めには無かったのに、気づいたら、スマホにはキャッシュレス決済のアプリが複数入っており、コンビニには財布を持って入らないのが定着してしまいました。時の流れに従って、生活様式も変化していくんですね。



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 2 年 3 月 31 日 第 106 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail:soudan@jousei.or.jp

令和元年度 湘南西部圏域重心・医療的ケア支援NW会議について

第 1 回会議は、令和元年 9 月 6 日（金）に、平塚養護学校多目的室で開催しました。事前に NW 委員から、災害による停電への備えについて確認したいと申し出があったことから、圏域内市町行政により地域ごとの非常用設備の設置状況等を簡単に報告いただきました。

第 2 回会議は、令和 2 年 2 月 14 日（金）に、平塚養護学校多目的室で開催しました。会議当日は、事業所で積極的に停電対策の情報収集や行政との協議を進めている NW 委員からの提供資料に基づき情報交換を行い、



- ・ 一般的な非常用電源が出す電流の波形は人工呼吸器のような精密機器には向いていない
- ・ 医療機関から停電時の代替手段として推奨されている非常用電源装置は高額であり、人工呼吸器に使うと持っても 4 時間程度
- ・ 電気自動車のバッテリーは人工呼吸器の非常用電源として使うことは想定されていないので難しい点がある

といった内容を確認しました。今後に向けては、圏域内市町間の連携（停電の起きていない市町で、停電した地域の電源を必要とする人を受け入れる、等）について提案があり、更なる情報収集を進めていくこととしました。また、令和 2 年 1 月から重症心身障害児者、医療的ケアの必要な方のショートステイのサービス種別が切り替わったことに起因する現状についても情報交換し、

- ・ ショートステイで持ち込む荷物がかなり増えた（医療型短期入所事業所）
- ・ 在宅で処方される吸引チューブの一日当たりの本数（1 日 1 本）を超えてショートステイ先に複数持ち込む必要ができたため、足りなくなる（訪問看護ステーション）
- ・ 衣類の洗濯がされなくなった分持参する着替えが増えたことで、準備の負担感から利用を控える家族も出ている（相談支援事業所）
- ・ 代替する医療型短期入所の追加支給決定に配慮している（行政）

などの状況を共有しています。

現時点（令和 2 年 3 月）では、1 月分利用料の請求が行われていますが、請求書を見て利用料が増えたことに驚いたご家族からショートステイ先に電話が入っているという話を確認しています。また、未だに圏域内行政から本件に関する問い合わせがある状況です。利用する方が困らないように、関係者へも正確な情報の伝達が必要です。

令和元年度第3回湘南西部圏域自立支援協議会 開催中

令和2年3月4日（水）に予定していた標記協議会は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。他の協議会も同様に、神奈川県障害者自立支援協議会をはじめ、圏域内では平塚市障がい者自立支援協議会、二宮町・大磯町障害者自立支援協議会、湘南西部障害福祉サービス等地域拠点事業所配置事業（あんしんネット）支援協議会、またその部会等が、中止・延期・書面協議となっています。他にも、かながわ湘南西障福ナビ関連では、3月6日（金）に予定していた「小児の地域包括ケアシステムづくり講演会パート6」（主催：平塚保健福祉事務所秦野センター、共催：かながわ湘南西障福ナビ）、相談支援体制強化充実事業の事例検討会・事例研究会が延期となり、その他3月中の会議すべてが中止になっています。

蔓延防止の観点から人との接触や移動に影響が出ていることで、事業種別や地域性にもよりますが、障害福祉の現場では利用者さんが自宅から出ることを控えて一日の利用者数が減ったところもあるようです。学校の休校による影響、職員の健康管理や資材確保も含めて各事業所の事業運営は困難さを増していることは想像に難くありません。また、障害のある方とそのご家族についても、普段利用している短期入所先や通所先が利用しづらくなり困っている方が出てきていることが心配されます。医療的ケアを必要とする方では、吸引力テールの消毒用のアルコール綿が手に入りづらくなったと嘆く方もいます。社会全体が先行き



に不安を持っている状況下では、誰もが足元を固めることに精一杯で、新たに生まれたニーズに気づきづらい、もしくは、気づいていても事業所単独では対応しきれないことが懸念されます。しかし、こういう時にこそ、これまで培ってきた市町行政、協議会を中心にした様々な人・事業所のつながりを最大限活用することで、ニーズを顕在化させて発信し、乗り越える工夫を共有しあえたら素晴らしいです。各種会議が開催中止されている中ですが、かながわ湘南西障福ナビとしては、圏域内市町、事業所の方々との積極的な情報交換を通じて、役割を発揮していきたいと考えています。

令和元年度第3回湘南西部圏域事例検討会

令和元年11月28日（木）に、二宮町・大磯町障害者自立支援協議会と合同で「GSVの手法を活用した事例検討会」を開催しました。18時からのスタートでしたが、20名の方にお集まりいただきました。仕事が長続きせず、自信を喪失している発達障害のある方への支援の在り方について協議し、経験を通じて自己肯定感を高める関わり方について多くのアイディアが出されました。第4回は、秦野市基幹相談支援センターと合同で、令和元年12月24日（火）に開催し終了しています。



【あとがき】2か月前には、新型コロナウイルスの影響がここまで広がることは誰にも予想できませんでした。適切に状況を把握しながら、皆さんと知恵を出し合ってなんとか乗り越えたいです。